

平成30年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童を対象に4月に実施されたもの)

1 結果と分析

(1) 全国学力調査結果

【国語】

- 情景描写から登場人物の心情を読み取ったり、登場人物の行動を根拠に、提示された文字数で感想を書いたりすることができている。
- 主語・述語の関係、慣用句の用例など、言葉の力が身に付いている。
- 他者の考えを生かしたり、批判的に捉えたりして自分の考えを記述する力に課題がある。
- 目的に応じた読みを問う問題で課題がある。

【算数】

- 対応数直線や線分図で数量関係を整理する力が身につけている。
- 記述式の問題は、グラフの読み取りの推し量りと、他者の考えを適用して考え方を説明する力が身に付いている。
- 線分図の活用と、わり算の式の適用に課題がある。
- 提示された考えを使って式(分配法則)を立てる力に課題がある。

【理科】

- 関心・意欲が全国平均を大きく上回っている。
- 観察技能の習得及び質量保存の法則の理解が身に付いている。
- 仮説をもとにした、実験の計画と結果の見通しを考える力に課題がある。
- 電気の領域は、実験技能及び知識の習得に課題がある。

2 取組についての評価

(1) 効果があった取組

- ・ モジュールタイムや授業の導入におけるフラッシュカードなどを使った反復活動。
- ・ 「推し量りを重視した交流活動」を視点にした授業改善
- ・ 既習から見通しをもたせ、自力解決を促すための、導入や問題提示の工夫の推進

(2) 改善を図る点

- ・ 基礎的基本的な学力の底上げ
- ・ 活用力を育てる問題等を取り入れた授業づくり
- ・ 学習習慣や生活習慣の改善を図る取組の実施

(3) 今後の学力向上に対する取組

- ・ 分割授業や朝の補充学習の計画的実施
- ・ 他との比較を意識づけ、自分の考えを表現する交流・対話・ふり返り活動
- ・ 学習を生活につなぐ問題設定・活動設定
- ・ 家庭と連携した読書活動の推進

